

NISSHA

メディカルテクノロジー 事業説明会

機関投資家向け資料

2023年5月26日

NISSHA株式会社

代表取締役社長 兼 最高経営責任者

鈴木順也

常務執行役員

メディカルテクノロジー事業部長

サム・ヘレバ

2030年に向け、対象市場ポートフォリオが進化

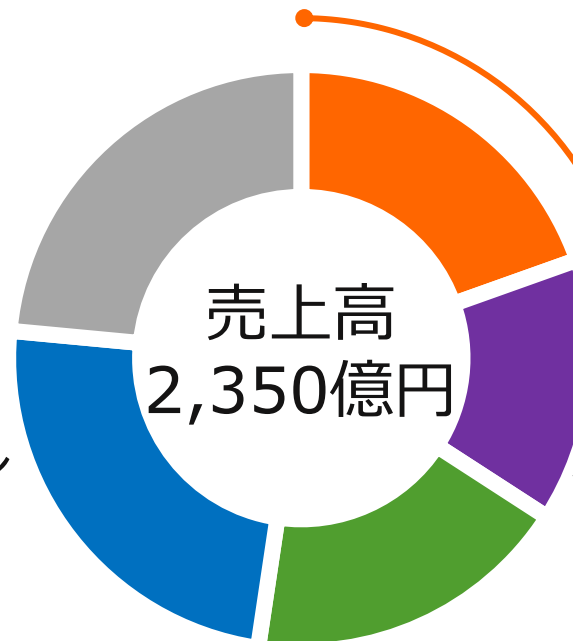
■ メディカル ■ モビリティ ■ サステナブル資材 ■ IT機器 ■ その他

2020年



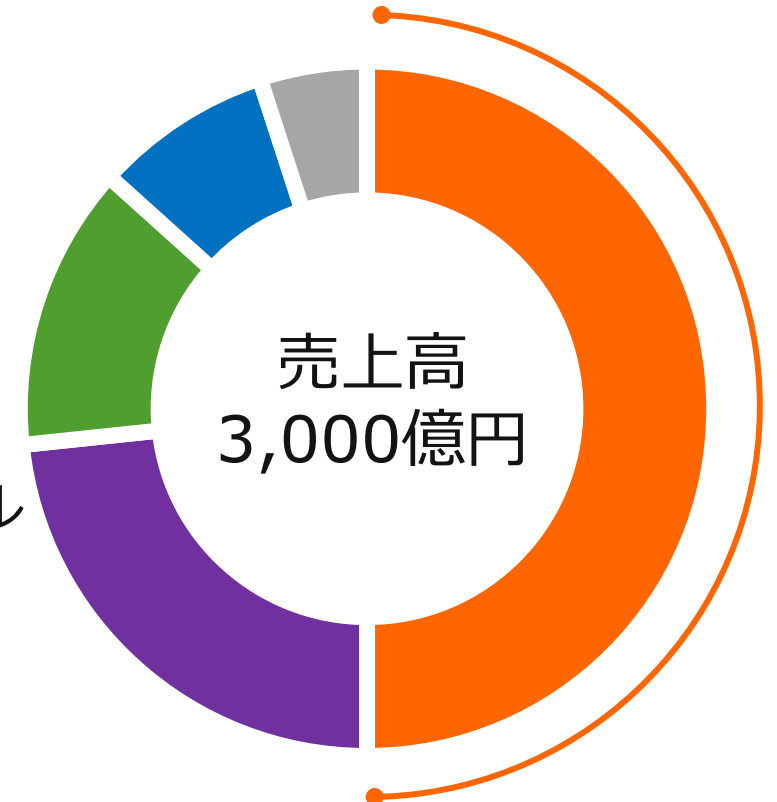
メディカル
CAGR
16%

2025年
ターゲット



メディカル
CAGR
26%

2030年
サステナビリティビジョン



メディカルテクノロジー事業 (NMT※1) の概要

※1 Nissha Medical Technologies

- 3つのビジネスを展開
- 本日のプレゼンテーションのフォーカス：事業の成長ドライバーである医療機器CDMO

	医療機器CDMO (開発製造受託)	医療機器 自社ブランド	ビジネスメディア
ブランド			
製品			

医療機器CDMOへの委託と技術の融合がイノベーションを促進

医療機器OEMはイノベーションによって成長し、複雑化する市場で競争力を高めなければならない

- 医療機器OEMはコアコンピタンスではない事業を外部委託して効率性を追求する一方で、医療機器市場への革新的な製品の投入に注力
- 設計・開発・製造を信頼できる医療機器CDMOに委託
- 医療のエコシステムに医療機器を通して価値を提供するために、技術の高度な統合を追求



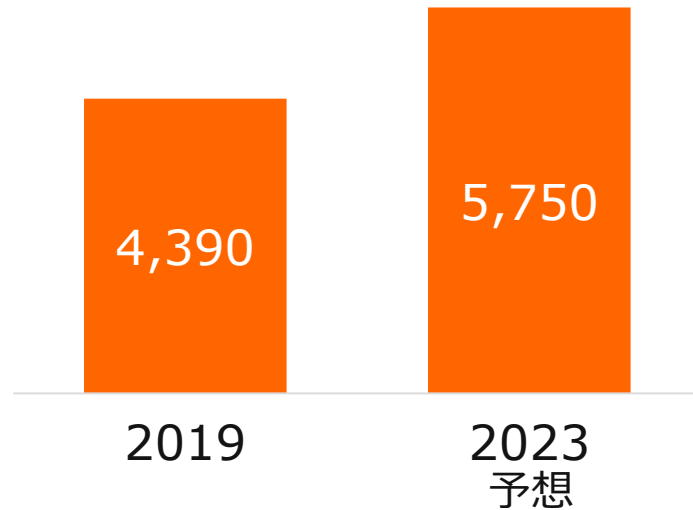
信頼できる医療機器CDMOとの提携

- 医療機器OEMはCDMOの垂直統合された能力・技術を活用し、高機能な医療機器を具現化
- 医療機器CDMOの設計・開発能力をより重視
- 新製品の立ち上げや既存製品のライン移管の製造キャパシティを確保

高い成長率が期待できる医療機器CDMO市場

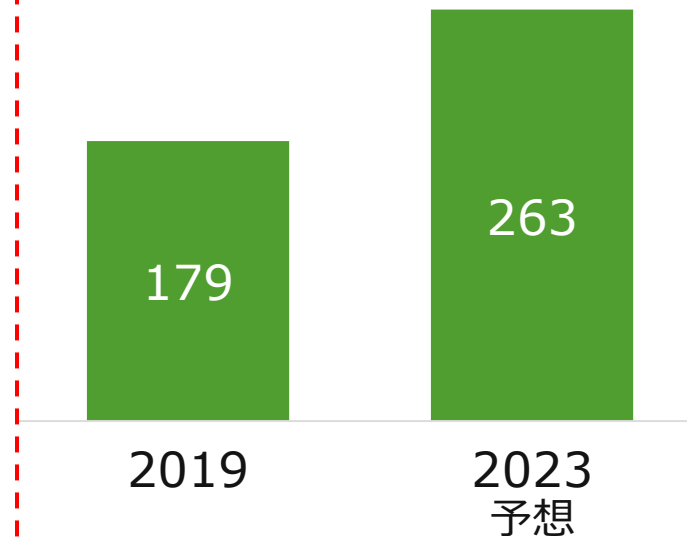
グローバル医療機器市場
(単位：億ドル)

— CAGR: 7% —



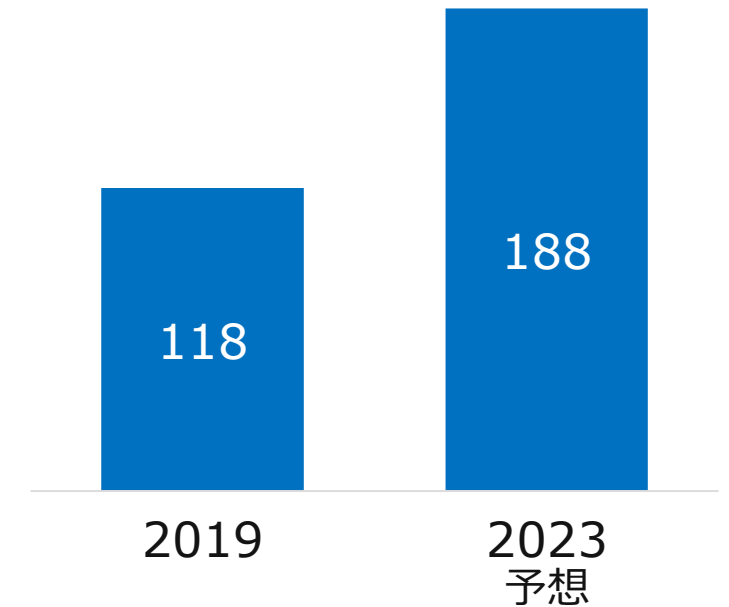
アメリカの
医療機器CDMO市場
(単位：億ドル)

— CAGR: 10% —



メディカルテクノロジー事業
医療機器CDMO
(単位：億円)

— CAGR: 12% —



出典: Arila Health 「The 2023 U.S. MedTech Contract Manufacturing Report」
「The 2021 MedTech Contract Manufacturing Report」に基づき当社調べ

メディカルテクノロジー事業 マネジメントチーム



鈴木 順也
代表取締役社長 兼
最高経営責任者 (CEO)



サム・ヘレバ
常務執行役員
メディカルテクノロジー事業部長
Nissha Medical Technologies 最高経営責任者 (CEO)



MIKE MEMMINGER
CFO



JONATHON CASEY
CIO & CSCO



DR. MICHAEL GAGLIO
Executive Vice President



BRANDON HOFFMAN
Executive Vice President &
General Manager



ERIC SHERRADEN
Executive Vice President,
Global Operations



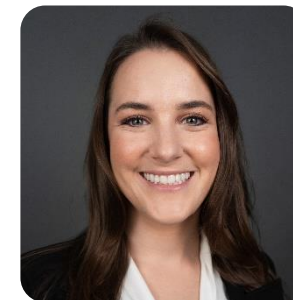
TONY SCIME
Vice President
Operational Excellence



TREVOR TORCELLO
Vice President
& General Counsel



JESSICA POTTER
Vice President of
Global Quality & Regulatory



JENNA GIMBAR
Vice President
Global Human Resources

メディカルテクノロジー事業 医療機器CDMO

医療機器CDMO：Contract Design/Development and Manufacturing Organization

- 設計・開発から製造まで一貫して提供する垂直統合パートナー
- グローバルの医療機器OEM向けに設計・開発の専門知識と優れた製造能力に強み
- グローバルで先進的な技術と独自の能力を活用
- CDMOに加え、相手先ブランドの製品や設計サービスを提供

垂直統合パートナー



製品設計・開発



製造工程の開発



受託製造

グローバル医療機器OEMとのパートナーシップ



Medtronic



Johnson & Johnson



Boston
Scientific



OLYMPUS



stryker



Abbott



Roche



PHILIPS



BD



GE Healthcare

グローバル医療機器OEM TOP10社中8社との強固な取引実績

ここに表されるOEMの商標はそれぞれのOEMに帰属し、当社および当社関係会社に属するものではありません。当社および当社関係会社の製品・サービスと当該OEMの製品・サービスとの関係、関連を担保するものではありません。

メディカルテクノロジー事業の役割

医療機器OEM

NMT

- グローバルの医療機器OEMの医療機器を受託製造するCDMOパートナー
- 設計・開発により付加価値を創出
- 生産性・効率性の追求により製造を最適化



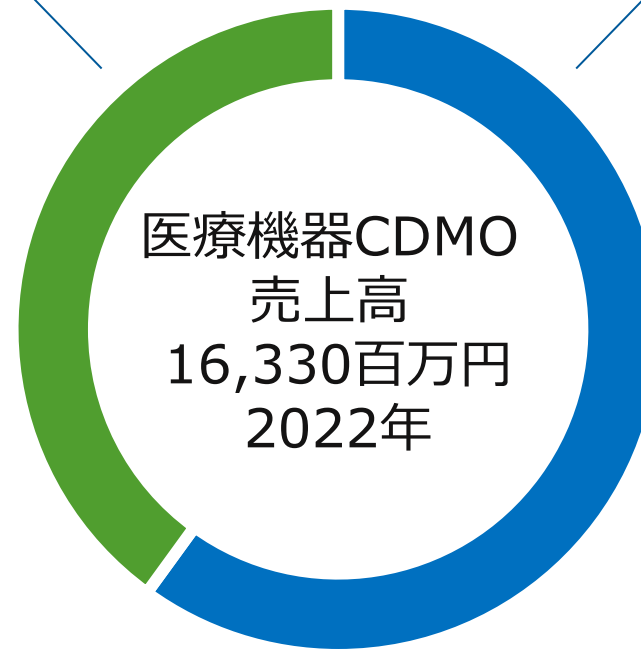
付加価値の創出

生産性・効率性の
追求

注力分野 (シングルユース) : 医療機器CDMOの売上高構成

診療・治療製品

手術機器



低侵襲医療用の手術機器
内視鏡、腹腔鏡、生検、ロボット手術、
手術ナビゲーション

手術機器の製品例

内視鏡

オートフォーカス機能付き高精細カメラ



膀胱鏡

泌尿器科領域の特殊機器



骨・鼻中隔ステープラー

鼻中隔などの手術機器



ケーブル・ガイドワイヤー

再利用可能なカスタムケーブル・
シングルユースの
ガイドワイヤー



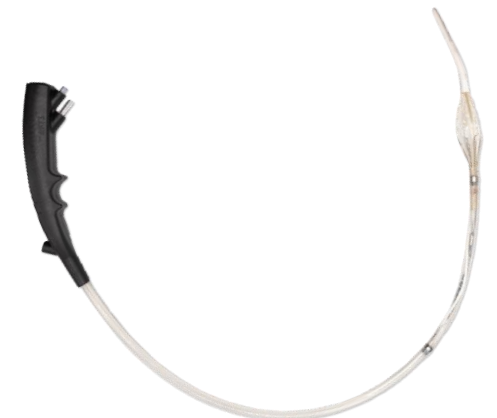
グラバー

ステープリング・アブレーション機器



アブレーションカテーテル

心房細動用バルーン・アブレーション機器



医療機器OEMに優れた設計・開発能力で付加価値を提供



顧客の状況

- 医療機器OEMは製品の課題解決と製造のスケールアップを可能とする設計・開発サービスを模索

顧客の課題

- 機器のリユースからシングルユースへの切り替え（製品設計の変更）
- 製造工程の削減など効率化・最適化

NMTの対応

- NMTが製品・工程を設計し、検証、量産認定プロセスを実行

お客さまと当社 双方に価値を提供

- お客さまの目標コストの実現
- NMTのグローバル拠点で製造
- 製造工程の半減を実現

医療機器OEMから最終製品の製造ライン移管が増加

- 強力な購買力、自動化の能力、生産技術のノウハウ
 - 原材料コストの改善
 - 生産能力の向上
 - 製造スペースの最適化

最終製品のパイプラインが増加
パイプラインの年間売上高*累計
(単位：億円)

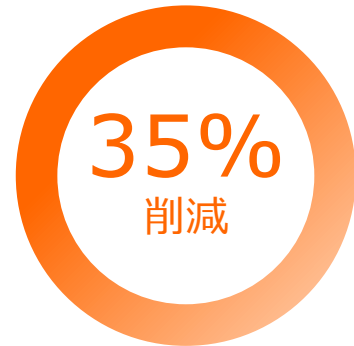
医療機器OEMに選ばれる理由



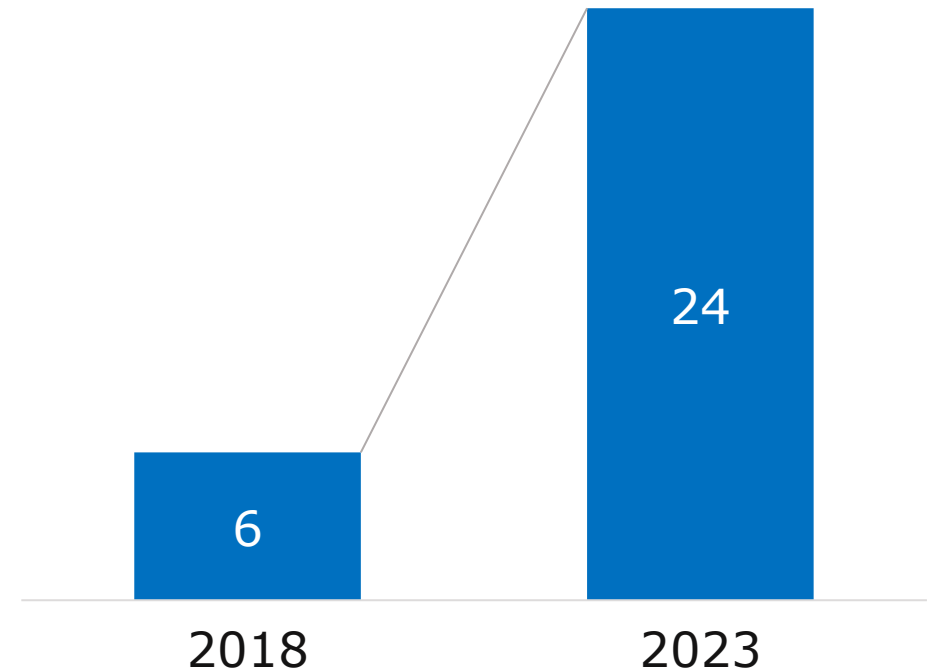
原材料コストの改善



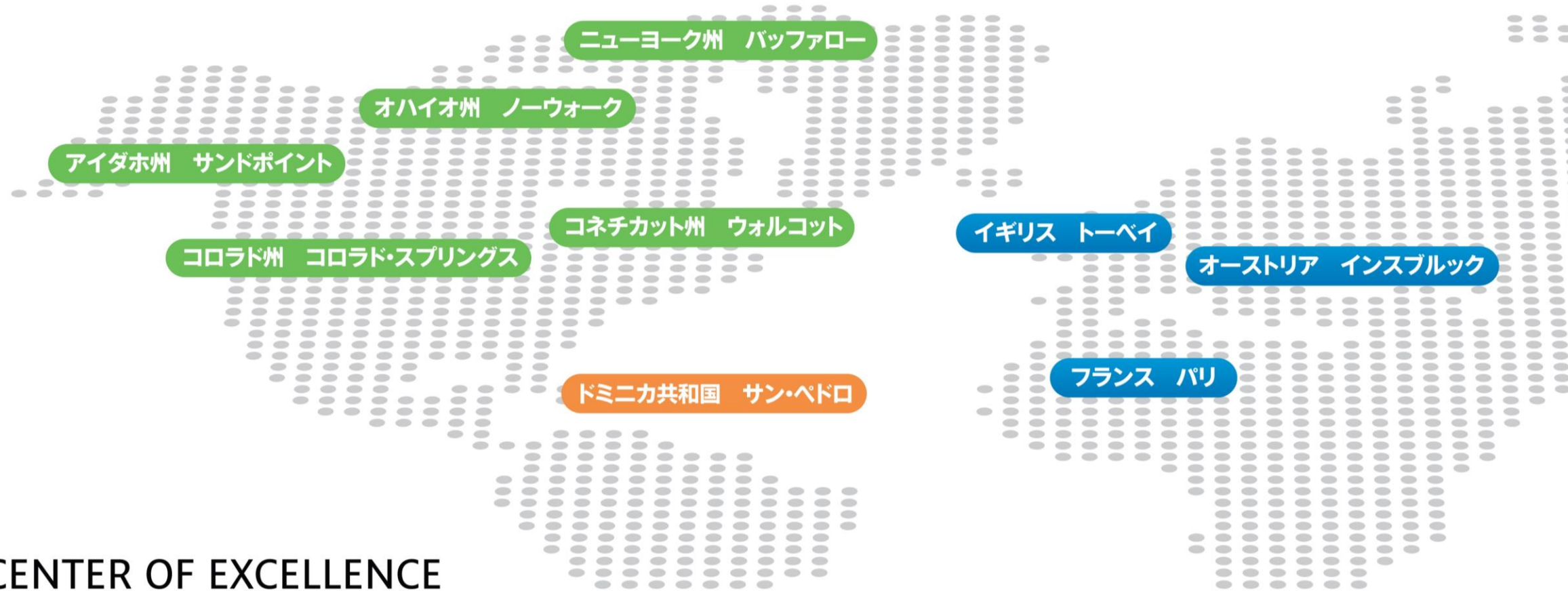
生産能力の向上



製造スペースの最適化



グローバルに展開する生産拠点



CENTER OF EXCELLENCE

USA

CARRIBEAN

アイダホ州 サンドポイント

コロラド州 コロラド・スプリングス

オハイオ州 ノーウォーク

コネチカット州 ウォルコット

ドミニカ共和国 サン・ペドロ

自動化

生産技術

金属加工

設計

組み立て

品質重視の製造工程

品質基本方針

Quality Policy / 品質基本方針

Nissha Group's products and services enhance value for customers and society through the establishment and operation of quality management system that is designed to ensure quality, cost, robust supply chains, and compliance with relevant laws and regulations.

NISSHAグループが提供する製品・サービスは、品質、コスト、安定した調達・供給体制、そして関連法令・規則を順守するよう精緻に設計された品質マネジメントシステムの構築と運用を通じて、お客さまおよび社会の価値を向上します。

Nissha Quality Way

LEADERSHIP

We are all committed to upholding and executing our Quality Policy - each and every one of us is a leader. 一人ひとりが主役となって、品質基本方針を実行します。

PROCESS APPROACH

We work based on systematic approach and continue to improve. 仕組みで仕事をし、徹底的に改善します。

QUALITY BY DESIGN

We build quality into design, focusing on product safety and feasibility. 設計段階で、製品の安全性・実現性を重視した品質の作りこみを行います。

VALIDATED DECISION MAKING

We are established in evidence based and scientific approach. 事実をもとに、科学的なアプローチで改善します。

QUALITY BY CONNECTED SUPPLY CHAIN

Quality is at the core of our trusting relationship within our supply chain. サプライチェーンを通じて、信頼の輪をつなぎます。

BAD NEWS FIRST

We quickly address challenges through rapid response and escalation process. 問題発生時には、迅速なエスカレーションにより、早期に対応・解決します。



製造工程：少ロットから大ロットまで対応

マニュアル

半自動

全自動

大ロット

少ロット多品種



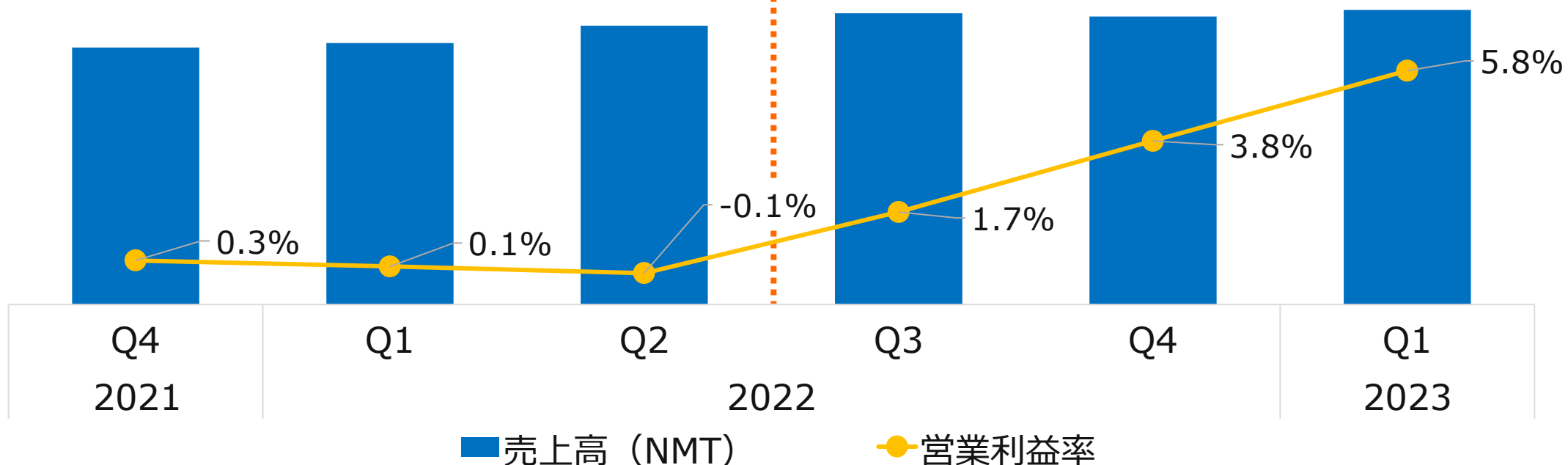
収益性の改善

COVID-19による課題

- 待機的手術の件数急減
- 人材の不足
- 原材料の不足
- 原材料コストの上昇
- 受注残の増加

迅速な回復と成長

- 生産性・効率性の追求
 - リーンマネジメント、カイゼン
- ノンコア製品の製造ラインを売却
- 労働力の安定化
- 販売価格への転嫁
- 原材料コストの削減



医療機器CDMO市場では戦略的パートナーへの外部委託のトレンドが加速

- 医療機器OEMは付加価値をもたらす戦略的パートナーを表彰
- NMTの機敏な製造の対応がお客さまに価値を提供



ボストン・サイエンティフィック
サプライヤー・アチーブメント



メドトロニック
サプライヤー・エクセレンス

顧客の声

消化器向けステープラーの手術機器設計

「NISSHAとの取り組みにより、想定よりも早く商品化を実現できた！」

事業開発技術ディレクター（医療機器OEM）

製造ラインの移管

「製造ラインの移管は完璧に実行された。単なる移管にとどまらず、当社の医療機器の品質が大幅に向上した。」

R&Dディレクター（大手医療機器OEM）

ウェアラブルデバイスの迅速な設計と製造

「NMTの専門知識（皮膚への接着技術と迅速な試作）により、スムーズで効率的な設計・開発から製造工程が実現した。」

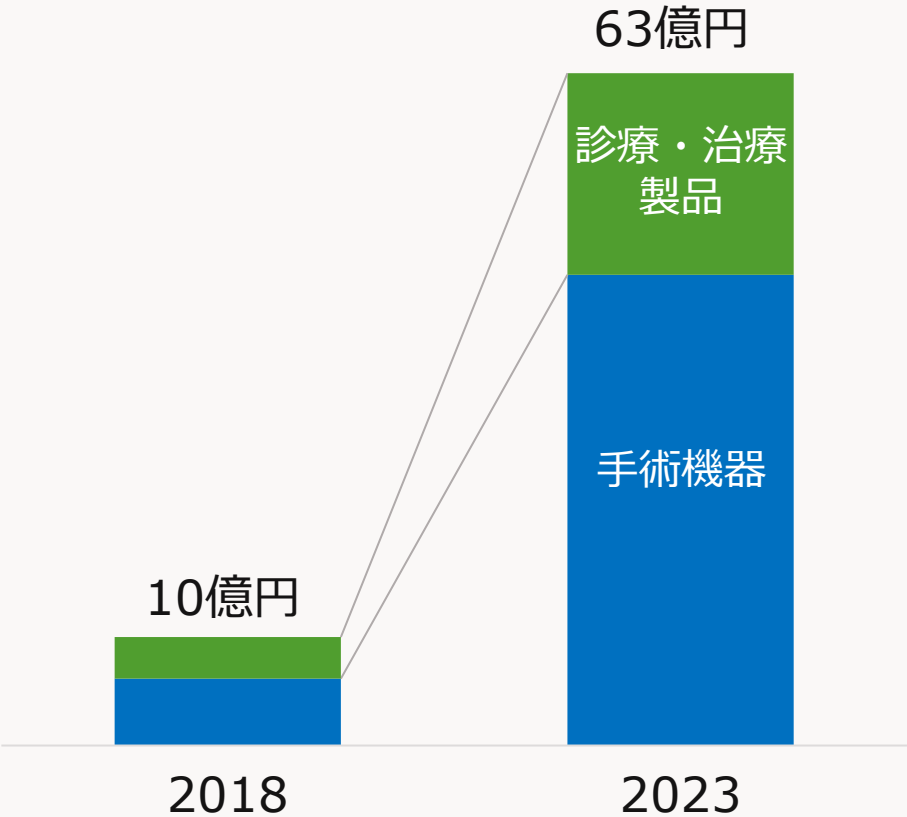
R&Dディレクター（大手医療機器OEM）

成長を実現するパイプラインを確保

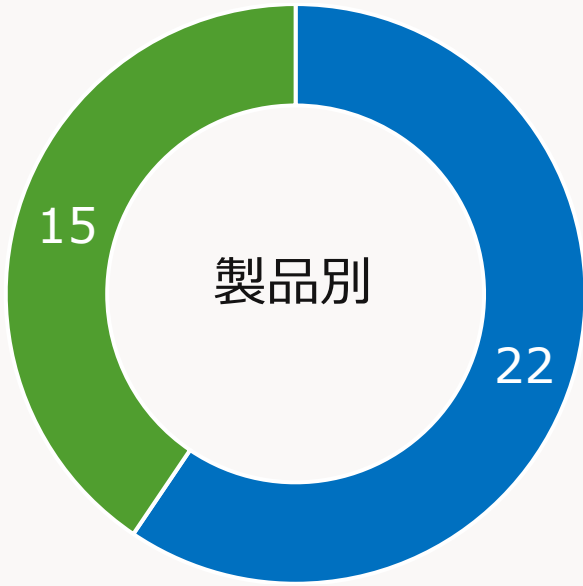
- 医療機器CDMOとしての能力拡大と市場トレンドにより事業機会が増加
- 豊富なパイプラインが中期的な成長を実現

※ 案件の3年目の年間売上高

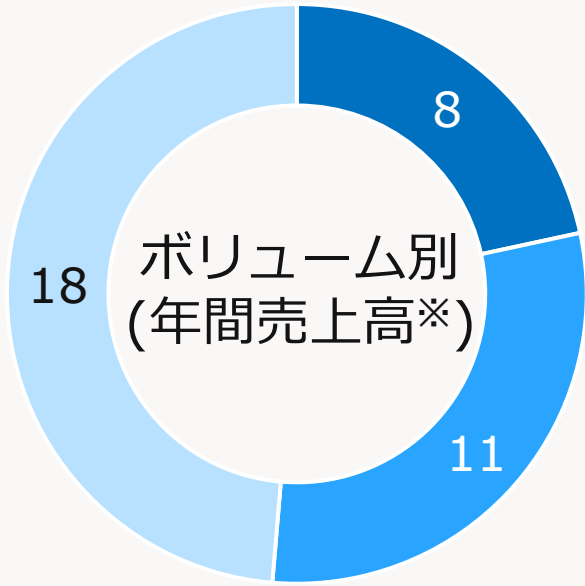
パイプラインの年間売上高※累計



パイプラインのプログラム数



- 手術機器
- 診療・治療製品



- 3億円以上
- 5千万円以上3億円未満
- 5千万円未満

製造キャパシティの増強

- ドミニカ工場の例

第1工場



- 大量生産
- フル稼働

第2工場



- 将来スペースを確保
- 医療機器OEMからの製造ライン移管を予定

第3工場



- 持続的、安定的な成長に向けて計画

今後の成長を促進する領域

垂直統合の深化

- 能力の強化
- NISSHA本社（日本）との共同開発
- サブシステムの開発
- 医療機器OEMを統合的にサポート

設計



開発



新たな領域・アプリケーションの探索

- センシング機能
- 複合型エンドエフェクター
- ナビゲーション
- 内視鏡

手術ロボット



スマートデバイス



重点市場

既存領域

手術機器



72 億ドル
アメリカのCDMO市場
11.6%
市場 CAGR ※1

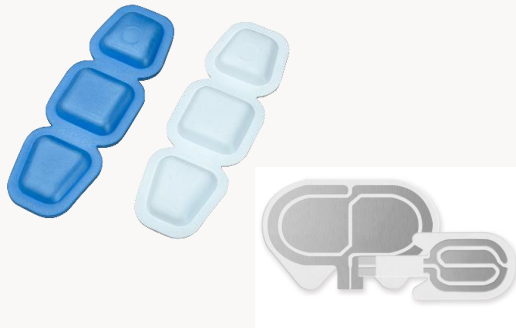
新領域

手術ロボット



73 億ドル
グローバル市場
17.5%
市場 CAGR ※2

診療・治療製品



39 億ドル
アメリカのCDMO市場
10.6%
市場 CAGR ※1

スマートデバイス



380 億ドル
グローバル市場
10.1%
市場 CAGR ※2

※1: 2019-2025 Transparency Market Research 「Medical Device Contract Manufacturing Market」に基づき当社調べ

※2: 2023-2027 Global Market Insights 「Smart Medical Devices Market」に基づき当社調べ

新領域の進行中案件

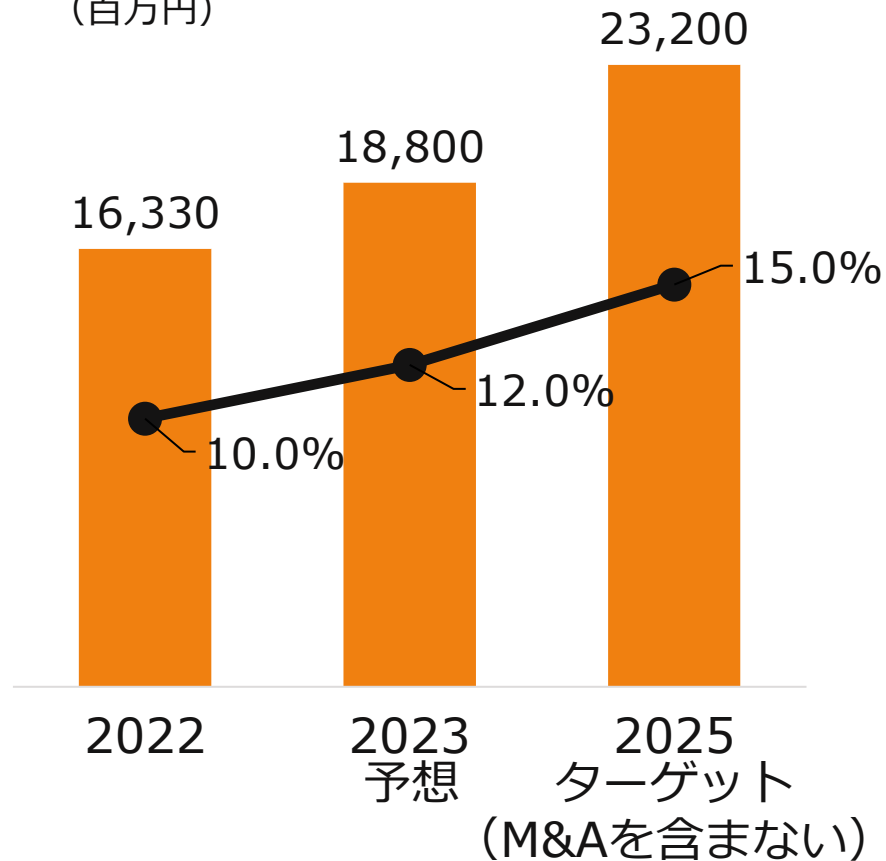
製品	案件数	特記事項
手術ロボット	5	手術機器の追跡デバイス および ロボット用エンドエフェクター
手術ナビゲーション	1	非侵襲の医療機器
生体情報遠隔モニタリング	2	スマートワイヤレス機器



2025年 CDMOのEBITDA15%を目指す

■ 売上高 (CDMO)
● EBITDA率 (CDMO)

(百万円)



事業拡大

- パイプライン案件の順調な量産立ち上げ
- 手術機器と診療・治療製品の新規案件の獲得促進
- 新領域「手術ロボット」「スマートデバイス」の事業機会の拡大

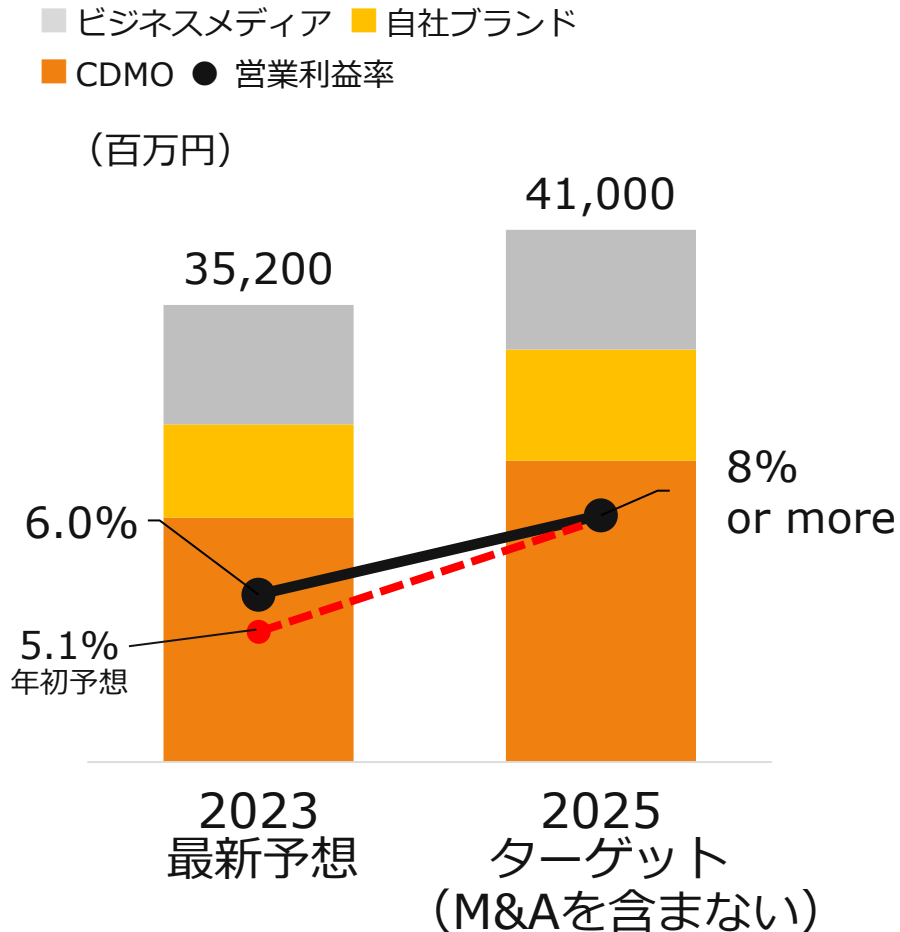
生産性・効率性の追求

- NISSHA品質基本方針の順守と生産性・効率性の追求
- 垂直統合の深化

総括

メディカルテクノロジー事業の成長

2025年の展望



● 2023年：収益性が正常化

● 優位性

- 市場が有望（CDMO市場およびNMTの重点市場）
- 設計・開発による付加価値の創出
- 生産性・効率性の追求と製造キャパシティの確保を両立

● 新領域

- 「手術ロボット」 「スマートデバイス」

● 投資予算※

- M&A：200億円
- 設備投資：40億円

※ 2025年までの予算

本プレゼンテーションに掲載されている情報および決算説明会・カンファレンスで提供される情報のうち業績の目標、計画、見通し、戦略、その他過去の事実ではない情報については、現時点で入手可能な情報に基づいて当社の経営者が合理的と判断したもので、リスクや不確実性を含みます。実際の業績は、経済動向、市場需要、為替の変動などのさまざまな要因によって大きく変わる可能性があります。